

せいぶ

西部エリア

松永湾岸には縄文時代の貝塚があり、かなり古くから人びとが居住していたことがわかっています。古墳時代にも松本古墳など多くの古墳が作られました。

江戸時代になると本庄重政が大干拓事業を行い、地名も松永となり、製塩業で発展を遂げます。その後、下駄作りで日本を代表する産地となり、福山市松永はきもの資料館での展示やゲタリンピックなどの催しが行われるなど、伝統文化を活かしたまちづくりが行われています。



旧マルヤマ商店事務所



西部エリア

西部エリア

401 ほんじょうしげまさぼ 本庄重政墓



指定種別：県史跡
所在地：松永町五丁目
(承天寺境内)
見学情報
JR 松永駅より約 900m

本庄重政は、福山藩家臣の嫡子として生まれましたが、江戸に出て兵法を学び、島原の乱で戦功を立てました。岡山藩池田家に仕えた後、福山藩に戻り、松永湾の塩田の開発や新田開発に多大な功績を残しました。松永の地名も本庄重政によるものです。承天寺は本庄家の菩提寺で、重政の墓石は八角柱形をしています。

402 まつながみのちょうきょうどういど 松永上之町共同井戸



指定種別：市史跡
所在地：松永町
(上之町集会所内)
見学情報
JR 松永駅より約 1km

松永の塩田が成立すると、人々は山裾沿いに居住することになりましたが、干拓地は地中に塩分を含むことから、水筋の良い地に井戸を掘削し、共同で利用していました。現在ではコンクリートで覆われていますが、花崗岩を用いた大型の胴張円形井戸で、井戸側は長石上に断面台形状の井桁を用いています。

403 いまつほんじんあと 今津本陣跡



指定種別：市史跡
所在地：今津町
見学情報
見学は外観のみ
JR 松永駅より約 1.6km

江戸時代に西国街道の整備に伴い、今津には宿が設けられ、参勤交代の際に大名が宿泊する本陣が置かれました。今津の本陣は、1602(慶長7)年頃に設置されたと伝えられ、主要な建物は現存していませんが、門構えや石垣などが当時の面影を今に伝えていきます。

404 松本古墳



指定種別：県史跡
所在地：神村町
見学情報
JR 松永駅より約 1km

松永湾沿岸を代表する古墳で、直径 45m、高さ 6.5m の円墳に、幅 17m、長さ 7m、高さ 2m の造出しが付く帆立貝形古墳で、周囲の水田の形から周濠が周囲に巡らされていたと考えられます。埋葬施設は、竪穴式石室か箱式石棺と考えられ、水鳥形埴輪や円筒埴輪、須恵器などが採集され、葺石も確認されています。5世紀前半の築造と考えられます。

405 おさぼ 長波古墳



指定種別：市史跡
所在地：今津町
見学情報
JR 松永駅より約 2km

松永湾を望む丘陵上に築かれた直径 14m、高さ 3mの円墳です。埋葬施設は、壁石を天井に持ち送り状に積み、ドーム状を呈しています。こうした石室構造が駅家町にある県史跡山の神古墳に似ていることから、古式の横穴式石室と考えられています。

406 ながまつ 永松古墳



指定種別：市史跡
所在地：東村町
見学情報
JR 松永駅より約 3.5km

直径約 10mの円墳と考えられ、内部主体は北西に開口する無袖式の横穴式石室で、平面形は胴張形をしています。規模は玄室長 3.5m、羨道長 2.7m、幅約 2m、高さ 1.9mで、出土遺物は知られていません。

407 うまとり 馬取遺跡



指定種別：県史跡
所在地：柳津町
見学情報
史跡の一部に覆い屋をして整備。JR 松永駅より約 3km

松永湾岸にみられる代表的な貝塚で、馬取西貝塚と馬取東貝塚を合わせて馬取遺跡と呼んでいます。縄文時代早期から晩期にかけての貝塚で、多量の縄文土器や石器が出土しています。縄文時代以降では須恵器・土師器・製塩土器などが出土しており、この地に約 1 万年前から人が住んでいたことがわかります。現在は貝塚の一部に覆屋を設け保存しています。

408 ほうきょういんとう 宝篋印塔



指定種別：市重要文化財
所在地：金江町
(実藏坊境内)
見学情報
JR 松永駅より約 4km

相輪を失っていますが、塔身の四面に梵字を配し、その一面に 1378(永和4)年の銘がある南北朝時代に制作された宝篋印塔です。

409 大田神社の大クスノキ



指定種別：市天然記念物
所在地：藤江町
(大田神社境内)
見学情報
JR 松永駅より約 4.5km

クスノキ科の常緑高木で、関東以西の暖地に多く分布し、巨樹になるものが多く、古くから神社などに植えられています。このクスノキは根回り 9.5m、幹の胸高周囲 5.6mを測り、枝張りは周囲約 30m、樹高約 23mです。

410 金江の大ムロノキ



指定種別：市天然記念物
所在地：金江町

ムロノキは別名ネズ・モロギともいい、ヒノキ科で、関東以西の海岸に分布し、特に山陽地方に多くみられます。このムロノキは、主幹は枯れていますが、根元から出た側枝が旺盛な樹勢を見せています。主幹の目通り周囲は 4.3mあり、樹高約 8mです。

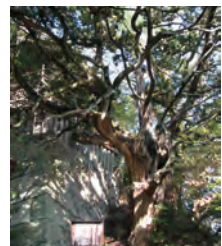
411 神村のクスドイゲ



指定種別：市天然記念物
所在地：神村町
(荒神社境内)

クスドイゲはイイギリ科の常緑低木で、近畿以西の海岸地域に自生しています。このクスドイゲは目通り周囲 1.2m、樹高 5.5mで、樹齢は約 300 年といわれ、このような小高木状になるのはきわめて珍しいものです。

412 高諸神社のハク



指定種別：市天然記念物
所在地：今津町
(高諸神社境内)
見学情報
JR 松永駅より約 1.7km

ハクはヒノキ科ビャクシン属の常緑高木で、イブキ・イブキビャクシンとも言い、宮城県以南の海岸地方に多く自生し、園芸種も豊富です。このハクは社殿西南側の岩盤上に自生し、目通り周囲 3.7m、樹高約 10mとなる巨木です。

413 村上家住宅 主屋ほか



登録種別：国登録有形文化財
所在地：今津町
見学情報
石垣の外観のみ見学可
JR 松永駅より約 1.5km

屋号を「竹本屋」といい、塩関係・廻船業などを営み栄えたと伝えられています。現在の建物は江戸時代末から明治時代後期にかけて建てられたもので、主屋・衣裳蔵・米蔵・納屋・長屋門・腕木門・井戸屋形・石垣が登録有形文化財に登録されています。

414 旧マルヤマ商店事務所



登録種別：国登録有形文化財
所在地：松永町 4-16-27
見学情報 P
JR 松永駅下車、南東方向に約 360m。福山市松永はきもの資料館敷地内にある。土曜日午後 13:00～17:00 に地域サロンとして公開。入場料/無料

1922 (大正 11) 年、かつて下駄の生産で活況を呈した「マルヤマ商店」の本店事務所として建てられた木造モルタル 2 階建・擬似石造りの建物です。建物の外観は、大正期の本格的洋風仕上げで、壁面に造り出された柱の頭部には紋章様の装飾「メダリオン」があり、屋根を囲うように壁を立ち上げた「パラベット」の下には、雷紋や枳形の連続模様が配され、瀟洒な洋風の雰囲気をかもしだしています。

415 福山市松永はきもの資料館



所在地：松永町 4-16-27

見学情報 P WC ♿

開館時間 / 10:00～16:00
(入館は 15:30 まで) 開館日 / 金曜日～日曜日および祝日
※年末年始 (12/28～1/3) は休館。
入館料 / (はきもの玩具館のみ) / 個人 300 円、団体 (20 人以上) 240 円。
☎(084)934-6644



2013 (平成 25) 年に閉館した民間の「日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館」を福山市が受け継ぎ、「福山市松永はきもの資料館 あしあとスクエア」として改装開館したものです。「はきもの玩具館」では、旧館から受け継いだ下駄や履物、オリンピック選手などのアスリートが愛用したシューズ、(国重要有形民俗文化財に指定されたはきもの資料 2266 点を含む) など約 1 万 3000 点と、昔懐かしい郷土玩具約 1 万 8000 点を収蔵・展示しています。また、エントランスホールには福山市にゆかりのある人物を紹介したコーナーがあります。「伝統産業館」では、塩・蘭草・下駄といった地元の伝統産業を体系的に展示しています。